

看護・保健部門

受賞者： かわしま 川嶋 みどり (83歳)

一般社団法人日本て・あて, TE・ARTE, 推進協会 代表理事



川嶋氏は、日本赤十字看護専門学校と聖路加女子専門学校の合同教育によるモデルスクールを卒業後、戦後の厳しい環境とあらゆる欠乏のもとで看護師として働いた。その間、臨床に根ざした疑問を明らかにしながら、常に現場に足をおいた問題提起をして看護界に大きな影響を与えてきた。その研究テーマは幅広く、諸学会での発表、専門雑誌への掲載を通して述べられている。

一方、早くから専門職としての看護の自立を目ざして、その核となる看護技術を構築するための研鑽を同輩とともにすすめ、看護教育者として後進の指導にも寄与してきた。

また、氏は優れた歴史研究者として、日本赤十字社や占領下の日本の看護や看護教育に関する調査や研究を続け、日本看護歴史学会では長きにわたり要職を歴任してきた。日本赤十字看護学会では、設立時より理事や副理事長などを務め、赤十字看護の発展のけん引役となってきた。氏の看護の本質を追究する姿勢、思想、人々の健康と看護への高い関心は多くの著書や講演を通じて現在も看護職に影響を与え続け、看護職の目指すべき方向を示す羅針盤ともなっている。

また、氏の活動は看護職の社会的地位の向上や労働環境の改善などにもおよび、看護職の権利を守ることは患者の権利を守ることに繋がるという氏の主張により今日の看護職の社会的地位の向上に貢献している。また、東日本大震災発災直後から、日本看護系学会協議会と日本看護科学学会の連携による災害看護支援事業との関わりを持ちつつ、リタイア看護師を組織し、現在も被災地での復興支援活動を継続している。仮設住宅、災害復興住宅の訪問活動、ならびに多彩なケアの実践を通して住民との心の交流を図るとともに、人材育成にも尽力している。

推薦者： 岡山 寧子 日本看護歴史学会 副理事長

田村やよひ 公益社団法人日本看護科学学会 理事長

守田 美奈子 日本赤十字看護学会 理事長